

事業の基礎情報

実施主体	会津Samurai MaaSプロジェクト協議会
事業実施地域	会津若松市
共創の類型	官民共創 ・ 交通事業者間共創 ・ 他分野共創
他分野共創の類型	医療・介護・福祉 ・ 商業 ・ 観光・まちづくり
共創パートナー	会津乗合自動車(株)、会津鉄道(株)、(一財)竹田健康財団、(株)みちのりホールディングス、会津若松市、福島大学経済経営学類吉田ゼミ、一般社団法人AiCTコンソーシアム、(株)ケー・シー・エス
運行形態	AIデマンド交通
運行主体	会津乗合自動車(株)

取組の概要

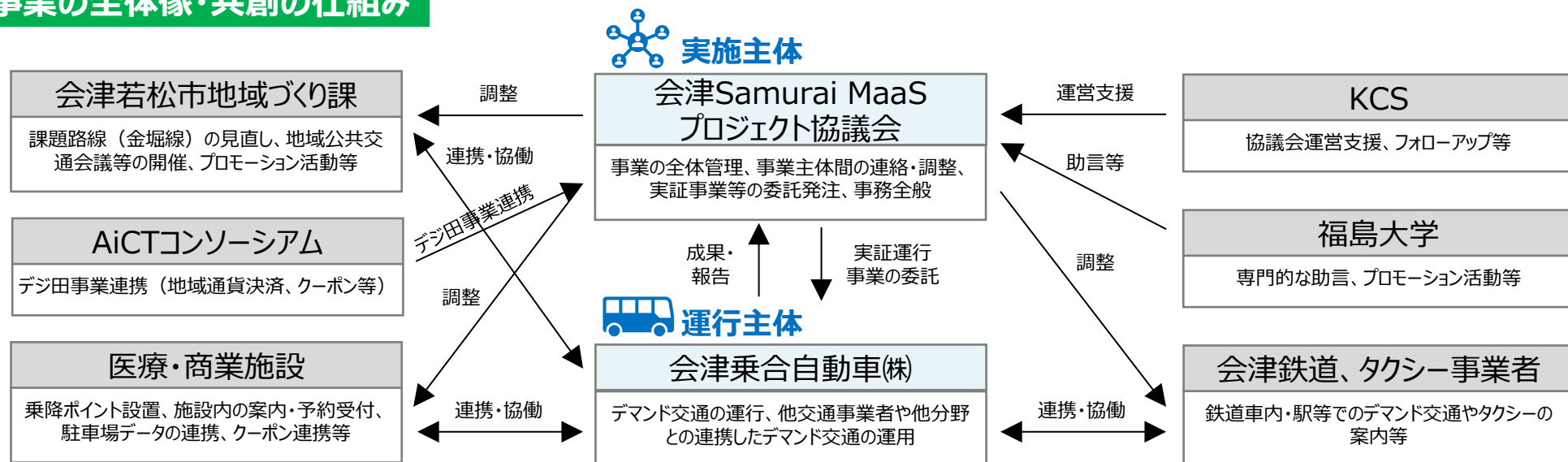
(現状の地域課題と事業目的)

市中心部において利用の少ないバス路線の見直しや駅からの二次交通確保、マイカー抑制が必要（昨年度事業で一部対応）である一方、路線バスのドライバー不足等により、循環路線と郊外部から乗り入れる複数路線で形成されるバスネットワークの維持が困難であり、タクシーについても供給力不足によりピーク時の需要に応えきれない。これらの課題解決に向けて、**配車アプリ等のデジタル技術を活用して、各交通モード及び目的地を束ねる・繋ぐという「まちなか交通の再構築」の更なる推進・強化**を行うことを目的とする。

(事業の概要)

自主事業としてデマンド交通を継続実証している交通事業者と、課題路線を抱える市が連携・協働して、**路線バスのデマンド交通への統合化**を図る。その上で、鉄道事業者・タクシー事業者と連携し、**鉄道との乗り継ぎやデマンド交通と乗用タクシーを使い分けられる情報発信・システムを構築**する。さらに、デジタル田園都市国家構想交付金事業と連携し、**病院などの駐車場混雑情報の効果的発信によるマイカーからデマンド交通等の転換や、デジタルクーポンを用いた買い物客の移動需要の掘り起こし**を行う。

事業の全体像・共創の仕組み



取組の詳細

(地域の関係者との連携・協働)

官民共創: 路線バス事業者がデマンド交通の自主運行としての実装化を目指す中で、市が補助する課題路線をデマンド交通に統合する形で見直しを行うことで、交通課題の解決と持続性の向上を図る。

交通事業者間共創: 鉄道・タクシー事業者と連携し、鉄道から乗り継いで目的地までの往復をデマンド交通・タクシーを組み合わせることで利用できたり、予約の入り具合によってデマンド交通とタクシーを使い分けて利用できる仕組みを構築し、限られた車両の有効活用を図る。

他分野共創: 医療・商業施設との連携により、マイカー等からの転換による新たな公共交通利用の開拓や交通課題の解消を図る。

(実証事業により見込まれる効果)

バス・タクシー含めた地域の限られた交通資源（ドライバー・車両）を移動需要に応じて効率的に配分でき、供給力不足の解消に貢献できる。通院者・買い物客対し、利便性の高い交通サービスを付加情報（駐車場混雑、クーポン等）とセットで提供することで、マイカーからの利用転換による利用増や、施設の駐車場問題等の課題解消に貢献できる。

デジタル活用による鉄道・デマンド交通・タクシーと目的地を統合したまちなか交通の再構築

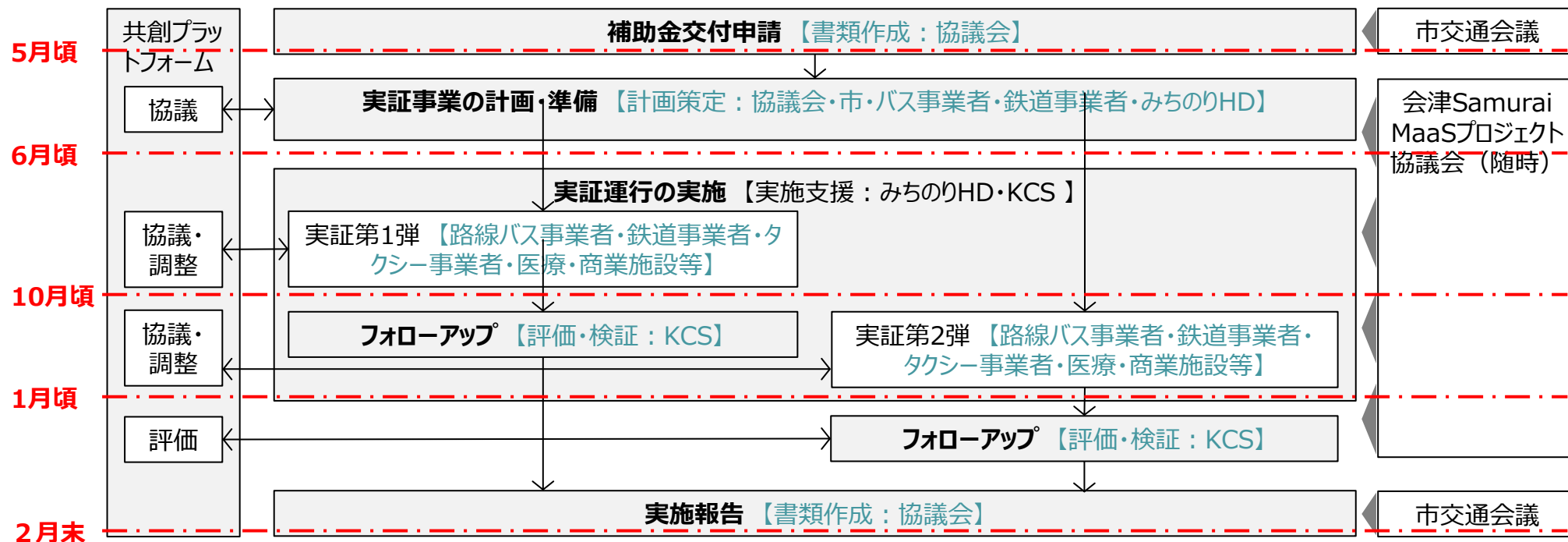
応募様式A

会津SMP共創プラットフォーム

取組の詳細

(事業実施手順・スケジュール)

■計画・準備：5～6月 ■実証第1弾：6～9月（フォローアップ9～10月） ■実証第2弾：10～1月（フォローアップ1～2月）



(補助事業実施後の予定)

更なる自主路線のデマンド統合化や、事業による生じる多様な効果を踏まえた様々な主体からの財政的負担・支援のあり方（他分野共創の深化）、会津圏域地域公共交通利便増進事業への位置づけ、立地適正化計画の誘導施策としての位置づけなどを視野に検討する。